



||||| 年頭ごあいさつ |||||
2014



静岡商工会議所 会頭
後藤 康雄
はごろもフーズ(株) 代表取締役会長

家康公に倣い、 地域の活性化に専心努力

あけましておめでとうございます。
年頭にあたり、会員の皆様のご健勝
とご繁栄を心からお慶び申し上げま
す。

一昨年末に発足した安倍政権は、「
大胆な金融政策」「機動的な財政政
策」「民間投資を喚起する成長戦略」
を三本柱とする新しい経済政策いわゆ
るアベノミクスを打ち出しました。これ
により株価は上昇、日本経済は徐々に
息を吹き返し、久しぶりに明るい兆し
を感じることができました。


清水港の貿易額も、世界同時不況で

激減した2009年から徐々に回復
し、輸出先では、アジアと北米への輸出
額が増加してきております。

また、静岡県におきましては、三保の
松原を含めた富士山が世界文化遺産
に登録されることが決まり、三保の松
原には多くの観光客が訪れるようにな
るなど、明るいニュースがもたらされて
おります。

静岡商工会議所では、この三年間、
「会員・地域から頼りにされる商工会
議所」をめざして、「企業づくり」、「地
域づくり」、「基盤づくり」の三つのテ-





マによる「第一次中期行動計画」を策定し、数値目標を掲げて、その実現に取り組んでまいりました。

特に、「基盤づくり」におきましては、当商工会議所が活発な事業を展開するための基盤強化策として、一万三千会員を目標に会員増強運動を展開してまいりましたが、おかげさまで目標達成まであと約二百先となり、全国で七番目の規模の商工会議所に躍進することができました。ご協力いただきましたました会員の皆様に感謝申し上げますとともに、さらなるご支援をお願い申し上げる次第です。

今日の静岡市においては、新東名高速道路が開通し、清水港コンテナターミナルの整備が進み、中部横断自動車道の開通も間近に迫っております。そして、静岡市には世界に通用するオンラインワン技術を擁する製造業が多数ございます。また、富士山を背景に、静岡ならではの歴史文化を受け継ぎ、おもてなしのできる飲食店や宿泊施設も多数ございます。当会議所と致しましては、利便性の高い交通基盤を活用して、国内外のヒトとモノの交流を一層深めるとともに、地域の人づくりに力を

入れていきたいと考えております。

また、一年後の2015年には、徳川家康公薨去四百年という歴史的節目を迎えます。

戦国時代を終わらせ、二百六十五年続く平和の時代の基盤づくりをした家康公は、朝鮮王朝との国交を回復し、諸外国との貿易を開始しました。全国的に治水工事を進めて農地を整備し、農業生産力を向上させて、豊かな社会を生み出しました。街道を整備して宿場を設け、ヒトとモノ、文化の交流をさかんにしました。さらには武士たちの教養を高めるだけでなく、商人や農家の子弟に実学を学ばせて教育水準を高めました。これが近代日本の基礎となったのです。

私どもは、家康公ゆかりの地に住む者として、近年再評価が進む「徳川時代」の知恵や歴史的意義を全国、そして世界へ発信するための事業にも力を入れていく所存です。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして素晴らしい一年になりますよう、ご祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。

